

2014 年度東京女子大学自己点検・評価に係る  
外部評価結果報告書

2015 年 6 月

外部評価委員会

## I. 外部評価委員名簿

い飯 けん謙 神戸女学院大学教授

うらの浦野 みつど光人 (株)ニチレイ 相談役

## II. 面談調査日程

2015年6月8日(月) 10時 ~ 15時30分

於 東京女子大学

2015年6月29日

## 東京女子大学に対する評価結果

外部評価委員

浦野 光人

飯 謙

【総 評】 2009年度の認証評価以降、自己点検・評価を継続して現状分析を重ね、グランドビジョン、育成する人物像、求める教員像等の制定、学部学科の再編、施設・制度の充実を通して、教育プログラムの改善と可視化によく努め、大学教育の質を堅実に向上させておられます。加えてそれらの新たな目標とそれがもつ意義を学生、教職員、さらには卒業生までも浸透をこころみ、いっそうの具体化に邁進する姿勢は高く評価されます。それゆえ貴学の自己点検・評価におけるPDCAサイクルはおおむね適切に運用されていると認められます。今後も「キリスト教主義」「教養」「リベラル・アーツ」等、根幹となる事柄への理解を深め、わが国におけるキリスト教主義リベラル・アーツ女子大学のモデルとして、貴学の使命を実現するため励まれますよう願うものです。合わせて財政について、現在のところ堅調であるとはいえ、未来の学生・スタッフのため、さらなる健全化の努力を期待するものです。

### 【所 見】

(優れている点)

- ・グランドビジョンを始めとする基本方針。それは社会が求める人物像にもかなう点
- ・基本方針を、キャリア・イングリッシュ・アイランド、マイライフ・マイライブラリー、視聴覚教育センター、新渡戸記念室等の設置により、可視化、実質化している点
- ・一学部制を採用して学生の選択肢を拡幅させ、「主体的学修」のための環境整備に努めている点
- ・女性学・ジェンダー的視点をカリキュラム・ポリシーで明確に打ち出し、また教員・スタッフのジェンダーバランスについても目標を明示し、対外的にも公約としていること
- ・それらの動きを、特段の前提をもたない学生および外部者のために言い換えて、適切に表現、説明していること

(努力課題)

- ・新たな方針を学生に浸透させるため、自校教育を充実させていただきたい。それは基本方針の充実にもつながると期待される。
- ・給付型奨学金増補の検討。
- ・グローバル時代に対する備え。受け入れ・送り出しの双方向で留学生を増加させるなど。
- ・リベラル・アーツ教育の環境整備は評価できる反面、学生はそれを生かし切れていない。他学科科目の「経験」レベルにとどまり、学生が自らの専門を生かす域に至っていないと思われる。制度上の工夫を重ねていただきたい。
- ・財政面では、中長期の視点から特に収入構造を見据えた健全な危機感を全学で共有することが求められる。
- ・また、検討に着手した「2015～2025 年度に亘る消費収支見通し」については、完成を急ぐとともに完成後も不断の見直しをしていただきたい。

以 上